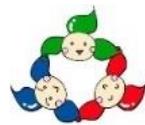




- 学校教育目標 : ふるさとを愛し、ふるさとから愛される「ときわっ子」の育成
- めざす学校の姿 : 美しい学校（美しい心の育成&美しい環境の整備）
- めざす子どもの姿 : いつも笑顔で 元気です！
- チャレンジ目標 : ともだちとあいさつ きもちのよいあいさつ わたしからあいさつ



本年もよろしくお願ひいたします



本来であれば、オリンピックイヤーとして日本中が盛り上がるはずであった2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、生活様式が大きく変わる1年となりました。

そのような中、地域の皆様、保護者の皆様には、本校教育にご理解をいただき、様々なご支援と温かいご協力をしていただきました。おかげで、置かれた状況の中において、子どもたちのためにできることを工夫し、教育活動を進めることができております。

本年も「ふるさとを愛し、ふるさとから愛される『ときわっ子』の育成」をめざしてまいります。皆様と一緒に、いつも笑顔で元気に過ごすことができる、そんな2021年にしたいと考えておりますので、引き続き、ご支援ご協力をいただくようお願いいたします。

本物から学ぶ

昨年も、地域の方をはじめ、多くの方々にご来校いただき、子どもたちへの指導を賜りました。日頃接している教職員だけでなく、いろいろな方のお話を聴いたり、一緒に活動をしたりすることは、キャリア教育にも結びつき、貴重な経験になると考えています。

その中で、11月に5年生を対象に実施した市主催の「子どもスポーツ夢教室」のことを紹介します。

本校には、車いすバスケットボールの選手に来ていただきました。実際に、子どもたちも車いすに乗って、いろいろな動きを試しましたが、目の前の選手のスピードには、みんな驚いていました。



体験の後、元日本代表として3回パラリンピックに出場した岩野博さんに、オンラインで講話をしていただきました。岩野さんは、

「夢を実現するには、その夢を恥ずかしながら周囲の人に伝えること。伝えると必ず実現に向けて協力してくれる人が出てくるから。」

「オリンピックは人間の限界への挑戦、パラリンピックは人間の可能性を示してくれる。」と語ってくださいました。やはり、その道を究めるために努力をしてきた方の言葉には、説得力があります。今年、わが国で開催される予定のオリンピック、パラリンピックから子どもたちが何を学び取るのか、楽しみにしています。

校長 浦野 建太